

1. 大学コンソーシアム京都の事業についてお伺いします

大学コンソーシアム京都（以下、財団）が第4ステージ（2014～2018年度）の期間中に取り組んできた以下の事業をどのように評価されますか。評価としてA～Fのいずれかに○印を、また、評価理由や改善すべき点等のご意見をご記入ください。

（1）単位互換事業

近年、大学において、カリキュラムポリシーやディプロマポリシーの明確化が進んでいます。そのような中、単位互換制度は出願・履修者数、提供科目数の増加等量的拡大の指向から、提供科目のガイドラインの設定や、キャンパスプラザ京都で開講される「プラザ科目」の特色化等の質的向上を図っています。更に2015年度からは「京都世界遺産PBL科目」を開講しています。

評価（ 大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F ）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

（2）インターンシップ事業

インターンシップが社会に浸透しつつあり、1dayインターンシップ等を実施する企業も増加しています。そのような中、財団インターンシップ事業は「教育プログラム」として加盟校からの要望も高い事前事後学習をはじめ「気づき」と「振り返り」を重視するプログラムに変更するなど事業内容の充実と受入先の拡大を図っています。また学生の成長が高く期待できるPBLの手法を取り入れた長期企画型の「プログレスコース」での出願者増加を目指しています。

評価（ 大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F ）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

（3）高大連携事業

高大連携事業は、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所および本財団の五者で構成される京都高大連携研究協議会を通じて行っており、高校・大学間の連携・接続教育問題における国内の最新動向の情報共有、京都における取組の情報発信を行う「高大連携教育フォーラム」を引き続き実施していきます。

また、大学個別の入試企画や民間業者主催イベントが林立する中、高校生の大学への進学意欲を喚起する「京都の大学『学び』フォーラム」はニーズに合った見直しの必要性から2015年度で終了しました。今後は、「高校生と大学生（必要に応じて社会人）とのより深い交流」を基本とし、参加者それぞれのキャリアを意識させ、学習意欲を喚起するプログラムの提供を目指します。

評価（ 大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F ）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(4) 生涯学習事業（京^{みやこ}カレッジ）＜京都市委託事業＞

高度化・多様化する社会人の学習ニーズに応えるため、約 40 もの加盟校等が特色ある講義や公開講座を提供しており、約 300 科目に延べ 1200 名を超える受講者を得ています。今後も「大学をアピールする機会」「教育・研究を市民に還元する大学の社会貢献」として、キャンパスプラザ京都で実施する大学リレー講座の充実や、各大学の教員や研究者を講師にして実施する人気講座「京都学講座」のさらなる展開とともに、学生への受講機会の拡大を目指しています。

評価（大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(5) FD 関連事業（FD フォーラム、京都 FD 執行部塾、京都 FDer 塾、新任教員 FD 合同研修プログラム等）

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組を推進しています。財団設立間もない 1995 年から開催している FD フォーラムでは、ポスターセッションの強化も含め、加盟校の情報発信と参加者間の交流を重視する運営を行っています。また、加盟校の学長、副学長および部長レベルの大学執行部を対象とする「京都 FD 執行部塾」、FD 担当者・推進者を対象に FD 活動のリーダーを養成する「京都 FDer 塾」、新任教員を対象とする「新任教員 FD 合同研修プログラム」等、各階層に対応した企画を開催形態や開催時期を検討しながら実施していきます。

評価（大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(6) SD 関連事業（SD フォーラム、SD ワークショップ、大学職員共同研修プログラム、SD ゼミナール、SD ガイドブック等）

加盟校の大学職員を対象とした管理運営や教育・研究支援等の資質向上を目的として様々な研修事業を実施しています。また、加盟校から復活検討の要望があった「大学アドミニストレータ研修プログラム」は、2015 年度に「SD ゼミナール」として再開しました。

今後は 2017 年度の SD 義務化を見据え、各大学や他組織における類似企画との差別化を図り、加盟校の人事・研修担当者が組織にとってメリットと捉えることができる研修の企画を行っています。

評価（大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(7) 共同広報事業（京都学生広報部＜京都市協働事業＞、京都 B&S プログラム）

財団では、加盟校が共同し大都市圏で「京都ワンキャンパス」と銘打った入試広報企画を実施してきましたが、2013 年度をもって終了しました。また、「京都の学びの魅力」の情報発信ツールとして「京都の大学 学びスタイル」という冊子を発行していましたが、2015 年度をもって終了しました。

2015 年度から「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力を、将来大学生となる中高生に向けて広報する「京都学生広報部」を創設し、大学生の視点で企画・取材した「中高生に伝えたい京都のリアルな情報」をウェブサイトや SNS 等で発信しています。また、「京都 B&S プログラム」（JTB 西日本京都支店・京都市と共同で実施）では大学生が修学旅行生や校外学習生を大学と観光地に案内する教育プログラムを実施しています。

評価（ 大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F ）

これまでの実績について評価や改善すべき点をご記入ください

(8) 都市政策研究推進事業（京都から発信する政策研究交流大会、大学の知を活かした多角的な市政研究事業＜京都市協働事業＞）

京都から発信する政策研究交流大会は、学生に政策研究の発表の場を提供することにより、学生の学びと成長、大学の枠を越えた交流の場を提供しています。今後、より多くの大学・学生に参画いただけるよう、2017 年度の財団指定調査課題に取り上げ、研究グループによる調査研究を行います。

大学の知を活かした多角的な市政研究事業は、加盟校教員で構成する複数の研究ユニットに市政課題を 2 学年度にわたり研究してもらおう事業で、2016 年度より開始しました。

評価（ 大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F ）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(9) 地域連携事業（学まちコラボ事業＜京都市協働事業＞、学まち連携大学促進事業＜京都市協働事業＞、大学・地域連携サミット＜京都市協働事業＞、まちづくり事例集）

地域の課題解決や活性化を目的とした、大学・学生と地域との連携による取組を支援しています。

ゼミ・学生グループ単位の活動を支援する学まちコラボ事業では、「文化枠」の創設（2017 年度）や採択団体間の交流会の実施等により、地域に入って活動する学生の成長を支援するという本事業の特性を更に強化します。また、大学を挙げた地域との連携を支援する「学まち連携大学」促進事業では、地域と連携しつつ学生が学ぶ機会を創出する教育プログラムを開発・実施する大学（2016 年度に 6 大学を採択）に最大 4 年間、補助金を交付します。さらに、大学・学生と地域の連携事例を広く発信するとともに、大学・学生や地域団体等が交流する機会を創出しています（2016 年 11 月に大学・地域連携サミットを開催）。

評価（ 大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F ）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(10) 学生交流事業（京都学生祭典、京都国際学生映画祭）

大学や学生が持つ活力やアイデアを活かし、「大学のまち京都・学生のまち京都」の活性化や大学間や学生間の交流の充実を目的に、京都学生祭典（2017年度で第15回）及び京都国際学生映画祭（同第20回）を主催する実行委員会の支援を行っています。

財団事務局は、学生が自ら考え・行動することを促す活動支援とフィードバックに徹するとともに、学生にとって将来社会人として役に立つ「汎用性能力」を修得できるようサポートしています。

評価（大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(11) 障害のある学生支援事業

財団では、2001年度から障害のある学生支援の在り方について検討を始め、2004年度から「ノートテイカー養成講座」を実施してきました。2015年度には「障害者差別解消法」（2016年4月施行）や障害のある学生の在籍数増加への対応のため、「障害学生支援事業企画検討委員会」を立ち上げ、障害学生支援業務に携わる大学担当者の能力向上や大学の枠を越えた情報共有や連携の場の提供を目的とする「関西障害学生支援担当者懇談会」を開催するなど、障害学生支援に関するプラットフォーム的な役割を果たすべく取り組んでいます。

評価（大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(12) 留学生の誘致・支援事業

財団では、産官学のオール京都で留学生誘致・支援を行う連携組織「留学生スタディ京都ネットワーク」の事務局として、「留学先としての京都」の海外での認知度向上を目的とした京都留学ポータルサイトの運営や海外での京都留学フェアの実施、留学生の受入環境の充実に向けた留学生有給インターンシップや留学生向け多言語住宅情報検索サイトの運営などを行っています。また、文部科学省の事業採択を受け、就職セミナーや、就職活動指導、ビジネス日本語講座などを提供する「留学生就職支援・交流コミュニティ」を運営し、留学生の就職に係る選択肢の拡大、地元企業への定着に向けた支援を行っています。

評価（大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(13) 日本人学生の海外留学促進事業（海外留学派遣プログラム、英語で京都をプレゼンテーション等）

加盟校所属学生の海外留学促進を目的に、単位互換事業を活用した豪州メルボルンへの短期留学プログラムや留学説明会、TOEFL や IELTS 等の語学習得支援講座を継続的に実施しています。

また、海外留学を控えている、もしくは海外の方に京都や日本について説明したい学生を対象として、伝統文化体験を交えながら、日本・京都の文化や社会について英語で表現する方法を学び、実際に人前で発表する「英語で京都をプレゼンテーション」を 2016 年度から開始しています。

評価 (大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F)

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(14) 大学教職員の国際化支援事業

留学生の増加に伴う支援の充実や海外大学との連携事業推進など、高等教育のグローバル化が加速するなか、大学教員・職員の英語運用能力向上を支援するため、学生とのやり取りに必要となる英語コミュニケーションの習得から、プレゼンテーションや会議運営、英語での講義の進め方等、教職員が直面する様々な場面に応じた「大学教職員向け英語スキルアップ講座」を行っています。

評価 (大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F)

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

2. 京都市の事業についてお伺いします

京都市（以下、本市）が「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2014－2018」の期間中に取り組んできた以下の事業をどのように評価されますか。評価としてA～Fのいずれかに○印を、また評価理由や改善すべき点等のご意見をご記入ください。

（1）大学施設整備の支援

大学の良好な施設整備計画を実現するために、大学施設の整備を支援する窓口を設置し、建築基準法や都市計画法等に基づく技術的な助言や施設整備に必要な各種手続きが円滑に進むよう、関係者と調整するなど、積極的な支援を展開しています。

評価（ 大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F ）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

（2）「ブラック企業・ブラックバイト」の根絶

2015年11月の「京都労働経済活力会議」で、市長自らが訴え、2016年3月に全国で初めて、京都労働局、京都市、京都府が連携して、ブラックバイト対策に取り組む「京都ブラックバイト対策協議会」を設置し、協議会として、アルバイトの実態調査や経済団体や学生アルバイトの多い事業主団体への労働環境改善に向けた要請などを行っています。

本市では、「京都市わかもの就職支援センター」を拠点に、アルバイトトラブル相談窓口を設置するとともに、グループディスカッション形式の「就活・アルバイトに役立つ働くルールを知るセミナー」を同センターや大学に出向いて開催するとともに、企業に対しても啓発セミナーを実施するなど、ブラック企業・ブラックバイトの根絶に向けた取組を進めています。

評価（ 大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F ）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

（3）「大学のまち京都」の魅力を体感できる短期留学受入事業（大学コンソーシアム京都との共同事業）

京都の大学の特色ある講義と京都体験を組み合わせた2週間のプログラムを実施し、日本への留学に関心のある学生に、京都の大学や文化・産業などの奥深い魅力を知ってもらい、「大学のまち・学生のまち京都」のファンとなっていただくとともに、将来的な長期留学につなげようとするものです。ウェブサイトや大学コンソーシアム京都との海外連携校、大使館等を通じた広報に努め、夏季・冬季の年2回（各回定員25名）実施しています。

評価（ 大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F ）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(4) 「京（みやこ）グローバル大学」促進事業

大学・学生の国際化を促進し、留学生誘致施策における面的な広がりを目指すことを目的に、留学生誘致や日本人学生の海外留学派遣、交換留学にもつながる海外大学との提携等、各大学が実施する国際化促進に関する取組に対して、2016年度から最大4年間補助金を交付します(2016年度に10大学を「京（みやこ）グローバル大学」として認定)。2017年度以降は、引き続き、補助金の交付を通じて、認定大学が実施する国際化促進に関する取組を支援していきます。

評価 (大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F)

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(5) 来日直後の留学生を支援する「ウエルカムパッケージ」事業

来日直後の留学生については、住民登録や国民健康保険への加入等、様々な手続きを行うとともに、ゴミの出し方や自転車のマナーなど、日本で生活していく上でのルールをできるだけ早く知っていただく必要があります。

こうした事情を踏まえ、来日直後の留学生を支援するため、行政手続や生活ルール等に関する情報提供やサポートなどの支援メニューを用意し、大学等を通じて留学生に提供しています。また、今後は、基本的なルール等について、留学生向けの説明動画を作成し、インターネット上での配信等により広く発信していきます。

評価 (大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F)

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(6) 外国人留学生交流等促進事業

留学生と市民との交流及び相互理解を一層促進し、留学生と市民との協働による地域活性化を目的に、留学生の生活を恒常的に支援する公益法人等の行う事業や留学生を含む市民団体等が主体となって行う事業に対し、「京都市外国人留学生交流等促進補助金」を交付し、留学生と地域社会との交流を促進しています。2017年度以降は、引き続き、補助金の交付を通じて、留学生と地域社会との交流に関する取組を支援していきます。

評価 (大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F)

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(7) 総合的な留学生支援の推進

京都の大学・短期大学に在学する留学生に、京都の文化芸術に親しみ、京都ファンになるきっかけに
していただくため、京都市の文化施設の見学・体験、京都市主催イベント等への参加機会を提供すると
ともに、国民健康保険への加入が義務付けられている留学生（とりわけ、国費留学生に比べ、留学費用
の自己負担が大きい私費留学生）の国民健康保険料の支払いに係る負担を軽減し、国民健康保険のセー
フティネットから漏れる留学生を生み出さないための支援を行っています。

評価 (大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F)

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(8) 「未来の京都を担う」京都企業と連携した人財（担い手）育成

大学や国籍の枠を超えた留学生を含む学生をグローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情
熱を併せ持った「グローバル」な担い手として育成するとともに、学生と京都の企業がお互いを知る機
会を創出するため、留学生を含む学生のチームが、京都の企業と連携した P B L
(Project (Problem)-Based Learning：課題解決型学習) により、企業の提示する課題の解決や学生から
企業への提案などに取り組んでいます。

評価 (大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F)

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(9) 京都で学び、京都で働きたいと希望する若者と京都企業とのマッチングの促進

京都には、高度な技術力を有する中小製造企業やベンチャー企業、伝統的な技術ブランドを継承する
伝統産業、国際観光文化都市を支える観光関連産業や商業など、多様で魅力ある産業が集積しています。

本市では、学生が集うキャンパスプラザ京都に「京都市わかもの就職支援センター」を 2016 年 4 月に
新たに開設し、企業との交流機能を強化し、3,700 社を超える京都企業を W E B で発信するとともに、
ハローワークや京都ジョブパークと連携し、大学低年次からのカウンセリング、セミナー、企業との交
流などを通じて、若者と市内中小企業とのマッチングから定着まで一貫して支援しています。

評価 (大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F)

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(10) 大学と産業・地域との連携

大学研究者の研究内容、大学が有する特許をはじめとした知的財産などの大学シーズの活用や連携を推進するため、京都高度技術研究所（ASTEM）、京都市産業技術研究所、京都産学公連携機構等によるコーディネート活動を行っています。

また、京都の大学の知的資源・ノウハウとの連携・協働による新事業創出を推進するため、京都市成長産業創造センター、研究成果展開事業（スーパークラスター）、地域イノベーション戦略支援プログラム、京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」等などにおいて、産学連携による共同研究・プロジェクトを推進しています。

評価（大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

(11) 輝く学生応援プロジェクト

社会貢献や京都のまちの活性化につながる活動を行う学生を対象に、ミーティングスペース・備品等の貸出しや専門のコーディネーターを設置し、活動に対する相談・助言・情報提供を行う「学生 Place+（学生プラス）」をキャンパスプラザ京都の1階に設置し、運営しています。また、学生の活動と地域のニーズのマッチング・連携を支援する「むすぶネット」、社会貢献活動等に関心のある学生とボランティア活動をマッチングする「学生ボランティアチャレンジ」に取り組み、学生の主体的な活動を総合的にサポートしています。

評価（大変重要 A やや重要 B どちらともいえない C あまり重要でない D 全く重要でない E 事業を知らない F）

これまでの実績についての評価や今後改善すべき点をご記入ください

3. 大学コンソーシアム京都の運営についてお伺いします

大学コンソーシアム京都（以下、財団）が第4ステージ（2014～2018年度）の職員の出向体制や財団財政をどのように評価されますか。評価理由や改善すべき点等のご意見をご記入ください。

（1）職員の出向体制について

2017年度の加盟校等からの出向者は全19名であり、その内訳は大学14名、京都市3名、京都府2名となっています。第3ステージ期（2009～2013年度）では22～23名の出向者を維持していたものの、大学を取り巻く厳しい環境から、財団の事業運営の柱となる加盟校からの出向者数は減少傾向にあります。

財団への職員の出向は、大きな視点から大学を取巻く状況を知る機会となるほか、他大学や行政とのネットワークを広げる機会ともなり、職員の人材育成の一環としても大いに有意義である考えられることから、出向職員数、派遣大学数の増に向け、加盟校への働きかけを行ってまいります。

これまでの実績やこれからの方針について評価や改善すべき点をご記入ください

（2）財団財政について

2011年度以降、文部科学省「戦略的大学連携支援事業」の後継事業を財団で引き継いだこともあり、支出超過の状況が2年連続で発生しましたが、事業の見直し・再編により、2013年度以降の決算では、支出超過の状況から脱し、適正な財政状況を維持しています。

しかし、収入を加盟校等からの会費やキャンパスプラザ京都の指定管理料に大きく依存しているため、大幅な収入増は見込めず、厳しい財政状況にあることに変わりはありません。今後も、事業ニーズやその効果の精査を行いつつ、事業を実施していく必要があります。

これまでの実績やこれからの方針について評価や改善すべき点をご記入ください

4. 大学コンソーシアム京都や京都市への期待をお伺いします

貴大学・短期大学では、大学コンソーシム京都及び京都市にどのような役割や取組を期待されますか。

(例) 大学コンソーシム京都及び京都市に

…期待する役割、新規事業に対する要望、必要な制度・仕組み など

(1) 今後、大学コンソーシアム京都に期待することは何ですか。

(2) 今後、京都市に期待することは何ですか。